



鈴木 正義

◆土岐市立総合病院の外来・入院患者の利用状況について

〔問〕外来・入院患者数（4月～8月の統計）について、また、他病院への転院・紹介状発行件数についても理由も合わせて教えてください。

〔答〕外来患者数は昨年は約5万5千人、本年は約4万9千人で、そのうち、昨年の7月からの1年間で他への紹介状発行件数は約1000件です。

入院患者数は昨年は約2万3千人、本年は約2万5千人で、他への転院紹介状の発行件数は1年間で約30件となります。理由としては、緊急を要する患者及び複雑な治療が必要な場合となります。

◆消化器内科等の医師不足について  
〔問〕消化器内科の常勤医師が減ったことによる多岐にわたる問題についてどのようにお考えでしょうか。また、現在総合病院の消化器内科における治療はどこまで対応可能な状態なのでしょうか。

〔答〕昨年10月から、常勤医師2名を確保することも難しい状況です。

医師不足の対策として、大学の医局や医師派遣業者などに募集活動を行っておりますが、すぐには対応困難な状況です。現在、消化器内科での治療は、胃・小腸・大腸等の一般的な疾患が主で、外来の内視鏡検査を中心にっております。今後は肝臓、胆のう等を専門とする医師を1名増員することで対応可能な範囲を広げていく考えでおります。しかし、医師不足問題が解決しているわけではないので、緊急時の対応について制限が残ると考えております。

〔問〕消化器内科をはじめ医師不足による治療困難問題についてはどのようにお考えでしょうか。

〔答〕地域の皆様に安心して治療を受けていただくことが大切であると考えて、総合病院で治療困難と判断した場合であっても適切に多治見の県病院や、瑞浪の厚生病院等への転院を促し、責任ある治療を行っております。

●他病院へ転院を勧められても様々な理由から簡単に病院を変えられない市民も多くいると思えます。転院によって仕事を休まなくてはいけない、または病院へ通えない方もいらっしゃるかもしれません。生活に直結する大きな問題として早急な対応を期待します。

### 《第4回定例会一般質問》



小栗 恒雄

◆政府主導による最終処分場の選定

〔問〕核のゴミの最終処分場の建設について、今後政府主導で選定する方式に転換されました。この日本は、地震国で火山国で断層はどこにあるかわからない。高温多雨で深く掘れば掘るほど地下水が湧きだします。これまでも核のゴミの地層処分には批判がありました。核のゴミの地層処分の安全性は確保できるのか、市長のお考えをお答えください。

〔答〕（市長）核廃棄物の地層処分ということは、非常に専門的な分野で、私の今の知識の範囲内で、安全かどうかは実際問題として難しいかな。本場に100%安全などということには言えませんし、また安全でないとも分かりません。未知の部分がいっぱいありますので、いろいろ研究がされており、今ある廃棄物の処分という事実が大前提としてあり、その中で一番ベターな方法ではないだろうかというところは推測できます。

〔問〕核燃機構の情報開示で、処分場候補として、岐阜県内で瑞浪市、中津

川市、恵那市が挙がっています。契約終了後の瑞浪超深地層研究所の穴の跡利用について、跡利用検討会で検討されております。市長は、跡利用はどのようにお考えでしょうか。

〔答〕（市長）8月21日に開催されました瑞浪超深地層研究所跡利用検討会がございまして、瑞浪市長さんが埋め戻した上で返還を求めるというような発言をされております。私は、瑞浪市長さんの意見に賛同したいと思います。

〔問〕土岐市は、電源立地地域対策交付金を今年度だけでも3億5千万円余を受け取り、職員の人件費に充当されています。この交付金は、最終処分場等を設置しようとするとき、反対意見を出にくくする工作金であります。処分場の選定を政府主導で進める事態に変わり、地元には大変危険な工作金となりました。私は、この交付金を辞退すべきと考えます。市長のお考えをお答えください。

〔答〕（市長）電源立地地域対策交付金につきましては、幅広く財源充当ができるような制度に変わってまいりまして、他の財源が浮きますので、そこに市のやりたいことができるメリットがございまして。市民のためにも私はこの交付金はもらうべきだと思っておりますので、交付金を辞退する考えはございません。



山内 房壽

- ◆バーデンパークSOGIについて
- 問 開業以来修繕費、改修費をどのくらい使われたのか。
- 答 指定管理者が3157万6205円で、市施工分が1億7509万8500円です。
- 問 収益納付金を積み立てた施設整備基金の積立金残高は。
- 答 27年3月31日の残高で896万6千円で現在残高は422万8千円となっております。
- 問 今後の改修の予定は。
- 答 今後は、大規模の修繕等は考えておりませんが、耐用年数が来たものから改修をする必要があります。
- 今後は市費を投入しないで済むような方策をしていただきたい。
- ◆テラスゲート土岐について
- 問 まちゆいの集客数は。
- 答 6月末までの入り込み客の数字は述べ6万2533人でございます。
- 問 ギャラリーと、体験教室の実績や評価は。
- 答 ギャラリーときは今年度中は展示予約が全て埋まっています。陶芸体

- 験は、オープンから延べ287人の利用で高評価をいただいております。
- 問 店舗の売り上げは伸びていないと聞かれますが、市内への誘導は。
- 答 誘導効果をはかることは難しいですが、市内への入り込み客数は増加しているという状況です。
- 問 運営経費は年間どの位ですか。
- 答 人件費、賃借料、共益費、光熱水費など、合計1987万5千円が、運営経費です。
- 運営経費に見合う効果を出していただきたい。
- ◆介護について
- 問 施設の入所待機者は。
- 答 県内の施設に352人の入所待機者があります。
- 問 今後については。
- 答 在宅介護の限界点を上げる施策の展開と、介護予防事業などを通していく事が重要と考えております。
- 今後介護施設、介護支援の充実に努めていただきたい。
- ◆新庁舎建設について
- 問 新庁舎建設工事設計プロポーザルでの新庁舎規模・事業費設定は。
- 答 延べ床面積を8600㎡から9900㎡で、建設事業費は約40億という金額の提示をしております。
- 建設が公表されて、市民の方々から批判が出るのではないような設計にしていきたい。

### 《第4回定例会一般質問》



和田 悦子

- ◆超深地層研究所について
- 問 坑道の埋め戻し工事の監督を
- 答 委員会が2022年1月の土地賃貸借契約期間終了までに坑道の埋め戻しをして土地の返還をしてほしいと瑞浪市長は発言されました。坑道の埋め戻しがきちんと履行されるよう、土岐市も研究所に工事の工程表などの提出を求めてください。
- 安全確認委員会が今後要望していきたいと思えます。
- 電源三法交付金が7年後にはなくなりません。その対策は。
- 新たな財源確保や経費削減で対応していくことになると思えます。
- 問 高レベル放射性廃棄物最終処分に関する自治体向け連絡会に土岐市は参加されました。応募方式から国主導方式に転換したので心配です。どんな質問をされましたか。
- 放射性廃棄物の持ち込み禁止条例があると発言をしました。地元の反対があれば処分場にはしない、と回答がありました。



▲ 84本もボーリングが行われた土岐、瑞浪の地域

- 問 土岐市、瑞浪市は広範囲にわたり84本もボーリング調査がされている。国は今後、政治的判断で「科学的有望地」として、処分場を押しつけてくる可能性もあります。受け入れないと約束してください。
- 答 (市長) 何度も言いますが、受け入れはいたしません。
- 問 頓挫している泉認定こども園建設の現在の状況は。
- 答 みつば、いずみ保育園は当面の耐震工事をする可能性があるということでご理解いただきたいと思います。
- 万全な政策はないと思うが、今後、機会があれば、子どもと保育士優先の環境を考えてほしいです。



後藤 久男

◆新しい教育委員会制度について

◎**問** 首長が教育大綱を策定することや総合教育会議の主宰者になることで、教育行政の最高責任者は市長となつたと受け止めておりますが、市長自身はどのように受け止めてみえるのかお伺いします。

◎**答** 教育行政に関する仕組みが大幅に変わったわけでありますが、実際のところ、私の実感としては、そんなに制度が変わつたというような感覚はございません。今回の改革の中で、教育の責任者は教育長であるということが明確に示された。人選にあたってはしっかりとした教育長を選任して、教育行政にあたっていただくように努めてまいります。

◎**問** 総合教育会議は新法のもとで、基本的な構成員は首長と教育委員会となつているが、改正の主眼である教育行政への民意の反映という点だけを捉えれば、構成員の拡大解釈として、会議そのものを大きなものにするべきと考えるとなつているが。

◎**答** 構成員の拡大は、法律上その二者

でもって構成されるという規定であり、必要に応じて意見聴取者として関係者や学識経験者から意見を聞き、地域住民の声が地方行政に反映されることは大切であり、必要に応じて意見聴取者から意見を伺っていく。

◆教育問題について

◎**問** 文部科学省が公表した、公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きに対する認識について。

◎**答** 適正規模は12学年18学級以下とされているのが、土岐津・下石・妻木・駄知・肥田・泉小学校と西陵・泉中学校で、土岐津・駄知・肥田中学校は標準に達していないが全学年で毎年度クラス替えができる規模になっている。濃南小・中学校は各学年単学級の状況である。

◎**問** 小中一貫（仮称）義務教育学校制度における方向性について。

◎**答** 今のような小学校6年、中学校3年という仕組みを全く新しい9年学校を創設していくわけで、これが土岐市の子どもたちにとって、本当に健全な子どもたちを育てるという意味でかなり有効であるという議論がこれからなされていくと思っておりますので趣旨を十分に理解してやっていく。

◎**問** 小中連携教育から一貫教育と文部科学省では検討を始めているが。

◎**答** 市長と語る会等で質問が出るが、当面は統廃合はないと考えている。

《第4回定例会一般質問》



水石 玲子

◆防災について

◎**問** 市内の防災倉庫の点検について伺います。

◎**答** 市内23ヶ所の広域避難所にある防災倉庫の点検は年1回行っている。

◎**問** 市内の指定避難所に災害用電話の設置のお考えを伺います。

◎**答** NTT西日本岐阜支店によりますと、今後県内各地への設置を検討中。市内の指定避難所等に設置していきたいと考えている。

◎**問** 防災キャンプについて当市の取り組み状況を伺います。

◎**答** 市が主催の防災キャンプは実施していない。地域でPTA主催の防災訓練において、講演や炊き出し訓練、避難所体験、着衣水泳、非常食の試食、起震車体験、防災倉庫の見学を行っている。

◎**問** 今後の計画を伺います。

◎**答** 市主催による防災キャンプの計画はないが、地域や学校などによる計画があれば協力していく。

◎**問** 学校で親子の防災教育を推進するお考えをお持ちか伺います。

◎**答** 学校での年間の防災計画の中で、あり方について考えているところですが。



▲ 城下町防災倉庫

◎**◆** まち・ひと・じいと創生総合戦略について

◎**問** 当市への移住・定住の推進について、子育て世代のお母さんを対象としたママさんアンケートの実施のお考えを伺います。

◎**答** ママさんアンケートのように調査対象を絞り込み、慎重に検討したい。

◎**問** 昨年度、県内で県外からの転入がトップというときに、保育料の無料化のお考えを伺います。

◎**答** 今年度より実施の子ども・子育て支援事業計画の中で、今後は老朽化した施設、あるいは耐震補強、認定こども園としての整備などを進めていくことになっており、新たな財源が必要になるため、現在、保育料の無料化については考えていない。